

栃木県の幼児教育と小学校教育をつなぐジョイントカリキュラム

つなげよう!

とちぎのこどものまなび



平成30年度幼小連携推進者養成研修まとめ

この資料は

- ❖ 入学を境にした時期に、子どもの学びや育ちがどのようにつながっていくのかを、多様な側面(テーマ)から捉え、まとめたものです。
- ❖ テーマ毎に、幼児期後期から小学校入学当初にかけて大切にしたいことを、「子どもの姿」「保育者や教師が大切にすること」「大切な経験や活動」の3つの視点で示しました。
- ❖ 各園・各校でアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを作成する際の参考にしてください。



平成30年度 受講者及びジョイントカリキュラムテーマ

	所属・氏名		テーマ		所属・氏名		テーマ
1	宇都宮市立横川中央小学校	近藤 恵美子	協同性	11	小山市立小山城南小学校	高松 いずみ	言葉による伝え合い
	風と緑の認定こども園	小沼 咲子			認定とまとこども園	川島 暁	
2	宇都宮市立瑞穂野北小学校	室井 朋恵	数量や図形、標識や文字 などへの関心・感覚	12	小山市立大谷北小学校	大橋 智香子	健康な心と体
	瑞穂野保育園	阿久津 典之			すみれ保育園	松村 嘉律	
3	宇都宮市立城山東小学校	中村 美和	数量や図形、標識や文字 などへの関心・感覚	13	栃木市立岩舟小学校	木村 拓弥	道徳性・規範意識の芽生え
	大谷保育園	塙 千景			認定こども園さくら	堀 晴美	
4	宇都宮市立海道小学校	伊藤 美幸	言葉による伝え合い	14	矢板市立矢板小学校	渋谷 純子	自然との関わり・ 生命尊重
	つながる保育園釜井台	齋藤 清美			かしわ幼稚園	野中 沙有梨	
5	鹿沼市立中央小学校	高野 久美子	言葉による伝え合い	15	那須烏山市立荒川小学校	駒場 あおい	言葉による伝え合い
	沖 保育園	福田 智美			那須烏山市立つくし幼稚園	村上 まさみ	
6	鹿沼市立菊沢東小学校	安藤 孝枝	言葉による伝え合い	16	大田原市立大田原小学校	室井 由美子	言葉による伝え合い
	鹿沼みどり幼稚園	岡田 幾子			おおたわら保育園	斉藤 貴洋	
7	日光市立下原小学校	久野 千代子	数量や図形、標識や文字 などへの関心・感覚	17	那須町立東陽小学校	大平 弘美	言葉による伝え合い
	高德保育園	小田原 紀子			伊王野保育園	岡田 和代	
8	真岡市立真岡小学校	和久井 啓子	言葉による伝え合い	18	那須塩原市立稲村小学校	三森 律子	言葉による伝え合い
	物部保育園	日向野 雅之			さきたま保育園	松本 恭子	
9	茂木町立逆川小学校	櫻井 由紀	言葉による伝え合い	19	佐野市立植野小学校	斎藤 洋江	言葉による伝え合い
	逆川保育園	岡田 香折			伊勢山保育園	横山 道代	
10	壬生町立藤井小学校	神馬 味之	言葉による伝え合い	20	足利市立毛野南小学校	塩沢 桃代	言葉による伝え合い
	認定こども園やすづか幼稚園	大久保 容枝			山川保育所	本橋 笑美子	

①テーマ：協同性

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

やってみたい

うまくできたよ
うまくいかない

教えてあげる
教えてほしい

みんなと
やってみたい

いい方法は
ないかな？

工夫して
楽しみたい

- ・一人で遊ぶことや友達の遊びを傍観することを認める。
- ・「やってみたい」という気持ちを認め、やりたいことに集中して取り組める環境を用意する。
- ・子どもがやりたいことに保育者も加わり、一緒に取り組む楽しさやよさを感じることができるようにする。
- ・成功や失敗に寄り添い、次に繋げられるよう言葉をかける。
- ・友達と関わる経験や、友達と助け合いながら同じことに取り組む経験を持つことができるよう配慮する。



- ・初めて出会う友達と、休み時間や生活科の学習で一緒に遊んだり、活動したりする中で、自分のことだけでなく他の友達の様子を知るなどして視野を広げ、よりよい方法はないか考えることができるよう支援する。
- ・グループ活動や話し合い活動の中で、自分が得意なことを生かせる場に気付き、自分の役割をしっかりとやろうとする意欲を持たせる。
- ・自分の考えや思いを言葉で友達に伝えられるように支援する。
- ・今までの経験を通して、自分のことだけでなく相手意識を持ち、みんなのためになるような活動を工夫して行おうとする気持ちや姿を大切にすること。



- ・一人遊び
- ・ごっこ遊び
- ・集団遊び
- ・たくさんの遊びの経験
- ・遊びの観察
- ・失敗、成功
- ・友達との関わり
(考えや気持ちの共有)
- ・達成感、充実感
- ・親切にされる経験
- ・友達と同じことに
取り組む経験
- ・目的に向かってやり
遂げるまでの過程
- ・やり遂げた喜び
- ・友達を思いやる
- ・グループ活動
- ・話し合い活動
- ・コミュニケーション力

目指す姿： みんなでやったら 楽しいね

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
(自覚的な学び)
一年生・入学当初

②：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

子どもの姿

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

親しみ・興味

- ・マークと合わせて、ロッカーや靴箱に名前を表示し、文字の存在を感じる。
- ・小学生と交流することで、小学校生活に憧れを持ち、新しい物への興味や関心を持つ機会を作る。
- ・ゲームや遊びの活動の中で、文字の形を知り、違いを感じる。
- ・自分の好きな絵本を読もうとして、絵と文字の関連性に興味を持つ。
- ・生活の中にある文字に気付き、保育者に読んでもらう。
- ・書道教室を通して、書くこと、読むことの楽しさを感じ、文字への興味をさらに深める。
- ・小学校の生活に向けて、自分の名前が平仮名で読めるようにする。



- ・絵本の読み聞かせ
- ・平仮名の献立メニュー
- ・小学生との交流活動（小学生への憧れ）
- ・家で絵本を読んでもらう
- ・好きな本の紹介
- ・自分で好きな本を読んでもみる
- ・身の回りの文字への興味
- ・書道教室
- ・自分の名前が分かる
- ・名前の表示
- ・物や場所の表示
- ・読み聞かせ
- ・平仮名学習
- ・特殊音節の学習
- ・読書タイム
- ・教科書の短い文の音読
- ・家庭での音読
- ・音読発表会

読んで もらいたい

読みたい

読める喜び

正しく 読みたい

上手に 読みたい

- ・幼・保の雰囲気ですぐに1日がスタートできるよう、朝の活動の時間に、読み聞かせや紙芝居を取り入れる。
- ・自分や友達の名前の表示、身の回りの物や場所の表示を見ることにより、文字を読むことへの興味を持たせる。
- ・特殊音節等の指導では、視覚的に音のイメージをより簡略化して捉えられるようにしたり、動作化して目に見えない音の特徴を具現化したりする。（MIMの活用）
- ・読書タイムに様々な本に触れることで、自分で「読みたい」という意欲につながる。
- ・家庭学習で音読をし、家の人にも聞いてもらうことで、「正しく読む」ことを意識化する。
- ・国語の授業での音読発表会などで、聞いてもらう喜びを感じることで、さらに「上手に読みたい」という意欲につながる。



目指す姿：上手に読めるとうれしいな。

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)

入学

一年生・入学当初
(自覚的な学び)

③テーマ：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

幼児期・年長後半
 (学びの芽生え)
 ↓
 入学
 (自覚的な学び)
 一年生・入学当初

子どもの姿

興味を持つ

遊びの中に
取り入れる

表現する楽しさ
を味わう

正しい文字や
言葉、文章の
書き方を身に
付ける

正しく使う
ことよに
気配

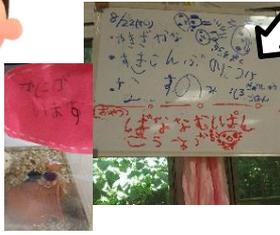
思いを伝え
合う楽しさ
を味わう

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- 日常生活の中で文字や数字に触れる環境を作る。(絵本、かるたなどを置く。)
- 生活する中で必要な言葉がわかるようになり、その意味や使い方を具体的に伝える。
- 友達や保育士の言葉や話をよく聞き、共感したり自分の経験を重ね合わせたりしている姿を認めていく。
- 自分の思いや考えを出し合う姿を認め、自信につなげるとともに、必要に応じて、言葉を補足する。
- 文字や言葉で表現できたことを友達に知らせ、楽しさを味わわせ、自信や意欲につなげる。



- 幼児期に味わってきた「表現する楽しさ」を継続して味わわせながら、文字の形や書き順、表記のきまり等に目を向けさせていく。(視覚化、動作化を取り入れた文字指導)
- 学習した文字や言葉、文章の書き方を使って、自分の書きたいことを自由に表現できる場を意図的に設ける。(言葉集めやしりとり、日記、係活動のお知らせ 等)
- 読書環境の充実を図ることで、語彙力や想像力などを高めるとともに、本を介して友達と交流する楽しさを味わわせる。



【保育園】

- あいさつ
- 読み聞かせ
- ごっこあそび
- かるたあそび
- 名前、物の場所のひらがな表示
- 絵本、紙芝居
- しりとり
- お当番
- 友達に伝えるための言葉
- 手紙のやり取り
- ワークブック

【小学校】

- 様々な場所への名前書き
- 生活科の観察カード
- 言葉集め
- しりとり
- 日記
- 係のお知らせ
- 日常的な図書室の利用
- 読書記録やおすすめの本の紹介
- 読み聞かせ
- 「家読」(親子読書)

目指す姿：言葉や文章で、思いを伝え合えるよ

④テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

自分の思いを
言いたい

友達の思いに
気付く

友達と一緒に
話すことを
楽しむ

自分の意見を
みんなの前で
言いたい

相手の話を聞き、
相手の思いに
気付く

相手に伝わる
話し方を学び、
伝わる楽しさを知

・心が動かされる体験を積み、その体験を汲み取ってあげながら話したい気持ちを育む。
・言葉遣いに気を付け応答すると共に、絵本や物語の言葉を聞くことで語彙が増えていくようにする。
・相手の話し方や言い回しに興味を持ち、真似たり新しい言葉を覚えたりしていく。
・ごっこ遊びや生活する中で言葉を使って自分の思いや考えを伝え、相手の思いにも気付くようにする。
・簡単な発表から始め、小グループ・クラス単位で話し合いを取り入れ、保育者が話を引き出し、そのやりとりをみんなに返しながらかえ合う喜びを感じる。
・子どもたちの心をぎゅっと近づけ、心を通わせる共通体験ができるよう、保育者が司会をしたり仲立ちをしたりする。



- ・製作遊び
- ・クラス会議
- ・読み聞かせ
- ・ごっこ遊び
- ・掲示物
- ・発表会
- ・一日の振り返り活動
- ・異年齢児交流
- ・誕生日会
- ・スイカ割り
- ・卒園製作
- ・朝のスピーチ
- ・学校探検
- ・友達同士の自己紹介
- ・あいうえおであそぼう
- ・学級会をしよう
- ・縦割り班活動
- ・帰りの会での振り返り
- ・図工の作品鑑賞
- ・授業の中におけるペア活動やグループ活動
- ・ロールプレイを取り入れた授業の展開

・入学当初の自己紹介や「学校探検」等の身近なことや経験したことなどから伝えたい気持ちを育む話題を決められるような活動を生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫において多く設定する。
・帰りの会等で一日の振り返りをする時間を設けて、次の時間にやりたいことを意識させ、個々に目的意識を持たせることで、自分の思いを高める。
・互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができるよう、尋ねたり応答したりする活動の場を設定する。
・積極的に教師が子供同士の間をつなぐ役目を行い、伝え合いのつなぎ言葉のモデルとなる。できた児童を称賛し真似をしたいと思いますように支援する。
・どんな考えや思いも受け止める土台となるクラスの基礎作りを大切に、安心して伝え合う環境作りを行う。

目指す姿： 伝え合うことを楽しむ！

幼児期・年長後半
（学びの芽生え）
入学
（自覚的な学び）
一年生・入学当初

⑤テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

伝えたい

伝わる喜び

知りたい

聞いてみよう

思いの共有

もっと知りたい
もっと伝えたい

・保育士に「話したい」と思えるような信頼関係を築き、安心して生活できるクラスを作る。
・保育士と遊びや生活の中で、応答的な話しかけをしたり、言葉のやりとりをしたりすることで、言葉で伝え合うことを楽しめるようにする。
・言葉でのやりとりが必要な遊びや製作を取り入れたり、絵本や紙芝居などに親しんだりしながら、言葉だけでなく想像力豊かに楽しむことができるように保育を工夫する。
・経験したこと、感じたことなど子どもの話に耳を傾け、共感することで伝える喜びを感じられるようにする。
・子どもの遊ぶ様子を見守りながら、子どもの世界を大切にしていく。



・相手の話を聞くことの大切さを伝え、話しやすいクラス的环境を作る。
・小学校は友達同士で助け合うところだということを伝える。
・教師が正しい話し方、聞き方の見本になる。(丁寧な言葉・語彙を増やす・共感・大事なことを落とさずに聞く)
・児童の言葉を教師が共感しながら聞き、反復したり、つないだりする。
・児童の言葉のやりとりで、良いところをクラス全体に伝え、広める。
・話し合いが必要な場面を、意図的に設定する。



- ・あいさつ
- ・絵本、紙芝居
- ・読み聞かせ
- ・ごっこ遊び
- ・歌
- ・リズム遊び
- ・言葉遊び
- ・カード遊び
- ・集団遊び
- ・製作
- ・当番活動
- ・自己紹介
- ・読書
- ・外遊び
- ・発表会
- ・ペア学習
- ・グループ学習
- ・遠足
- ・他学年との交流
(縦割り班活動)

目指す姿：きみの考え、よく分かったよ。私はこう思うよ。

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

⑥テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

話したいな

聞きたいな

伝え合おう

安心して話せる

分かりやすく話そう

考えながら聞いてみよう

- ・保育者と子ども、子ども同士の信頼関係を築く。
- ・言葉に表せない、上手に伝えられずにいる思いを汲み取り、代弁することにより、安心感や満足感を得られるようにすると共に、話す力を育てていく。
- ・保育者が話を聞くことの手本となる。
(目を見て話を聞く・話を最後までしっかりと聞く・頷きなど反応を返す等)
- ・コミュニケーションの楽しさを味わえる遊びや活動を通して、話をしたい、聞きたいという意欲を高めていく。

- ・名前を呼びながら挨拶したり話かけたりすることで担任への安心感をもたせる。(先生には何でも聞いてもらえる、先生と話したい)
- ・子どもが自由に話せる場を意図的に設定する。
- ・遊んだり活動したりする中で友達に関心を持たせる。(仲よくなりたい・自分の気持ちを言いたい)
- ・国語や生活科を中心とした自己紹介活動や人間関係プログラム等を実施することで、友達とのやりとりを楽しませる。
- ・様々なグループ編成をしながら、多くの友達と関わり、自分の思いや考えを伝えたり、友達の話の聞いたりする活動を取り入れ、伝え合う楽しさを体感させる。(話したくなる雰囲気作り・子供の話を広げる)



- ・読み聞かせ
- ・語り聞かせ
- ・挨拶
- ・当番活動
- ・ごっこ遊び
- ・伝言ゲーム
- ・インタビュー
- ・手紙のやりとり
- ・劇遊び
- ・朝の準備や活動
- ・健康観察
- ・休み時間
- ・自己紹介
- ・エンカウンター
- ・学校探検
- ・係や当番活動
- ・ペアやグループでの話し合い活動
- ・発言・発表



目指す姿：いろいろな気持ちや考え方が分かったよ

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

⑦テーマ：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

幼児期・年長後半
（学びの芽生え）
↓
入学
↓
一年生・入学当初
（自覚的な学び）

子どもの姿

親しみを持つ

興味を持つ

読んでみたい
書いてみたい

書き方の基本
をしっかり

上手に書ける
書きたい

もっと上手に
書きたい

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

・絵本や図鑑に触れ、楽しさを味わうことで、文字や数字に親しみを持たせる。
・散歩や園外活動では、公共の場所で標識や看板等に興味・関心を持つようにする。
・遊びの中で数を数えたり数や量を比べたりして、楽しみながら文字や数字に興味や関心を持たせる。
・いろいろな活動の場面で、書きたい、読みたいという気持ちを大切にす。

・生活科を中心とした合科的指導の中で、平仮名や数字を書くことを意識しながら練習させる。
・鉛筆を正しく持てるグリップを使用し、習慣化を図る。
・姿勢にも気を付けられるよう掲示物を貼り、声かけをする。
・平仮名を練習する際には、筆順・とめ・はね・はらい等細かく指導するが、上手に書けたときは大げさにほめ「自分は上手く書ける」と自信を持たせる。
・家庭学習ノートを自主学习コーナーに掲示(交代で)し、さらに意欲を高める。



- ・読み聞かせ
- ・散歩
- ・カルタ・トランプ
- ・時計・手遊び
- ・お店屋さんごっこ
- ・魚つりゲーム
- ・鬼ごっこ(10数える)
- ・歌(数字の歌)
- ・手紙
- ・パネルシアター
- ・姿勢
- ・鉛筆の持ち方
- ・ひらがな・すうじノート
- ・筆順や形
- ・ノート(国・算)の書き方
- ・音読カード
- ・うち学ノート等

目指す姿：正しい姿勢・持ち方で、上手に書けるよ。

⑧テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

話を聞いてほしい

聞いてもらう喜び

友達の話を聞きたい

伝え合いは楽しい

もっと詳しく話したい

もっと聞きたい

・子どもたちがやってみようと思える場を多数設定し、力を発揮できるように見守る。
・自分の思いを上手に伝えられるように、保育者が仲立ちをして、友達同士の会話をつなぐ。
・保育者は子どもの気持ちを丁寧に読み取り、分かりやすい言葉掛けをして、話をしやすい環境を整える。
・季節ならではの行事や遊び・体験をする中で、お互いのよさや考えに触れて、気持ちの伝え合いができる場や環境の工夫をする。
・仲間と過ごす喜びや遊びの充実感を味わわせる。



・新しい友達や環境に慣れるように、簡潔に分かりやすく、学校や学習のルールを伝える。
・スタートカリキュラムの合科的な学習を進め、学校生活への期待感や満足感を高める。
・自分の周りの友達や先生、施設などに興味・関心をもたせ、進んで関わろうとする環境づくりを心掛ける。
・様々な体験や活動から、子どもたち自らが「伝えたい」「聞きたい」と意欲を継続させるような授業の展開をする。
・国語の「書く・話す」の学習を中心に、各教科の中で学び合いの場を工夫する。



- ・異年齢児との交流
- ・自由遊び
- ・朝・帰りの挨拶
- ・給食当番活動
- ・季節の行事
- ・発表会
- ・かるた遊び
- ・ゲームやクイズ
- ・製作活動
- ・読み聞かせ
- ・自己紹介
- ・仲間づくりの遊び
- ・学校探検
- ・児童集会
- ・生活科見学
- ・教科学習
- ・音読・ペア学習
- ・係・当番活動
- 等

目指す姿：分かりやすく話せたよ もっと聞きたいな

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初
(学びの芽生え)
(自覚的な学び)

⑨言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

親しむ

思いを
伝えたい

伝わる喜び
を感じる

聞くことの
大切さ

正しく
伝えたい

伝わって
嬉しい

- ・信頼関係を築く。（遊びの中で）
- ・伝えたいことを自らの言葉で伝えられるまで待つ。一言一言に耳を傾ける。
- ・うまく伝わらないときは仲立ちし、互いの気持ちが理解できるようなきっかけを作る。
- ・一つ一つに共感し、話すこと、伝えることが楽しいと思えるよう、日常生活でも工夫をする。（言葉遊び、フリートーク）



- ・分かりやすいように、短く、簡潔に話す。
- ・集中して聞けるように、話している人や相手に顔や体を向ける。
- ・子どもたちが聞く準備ができ、静かになるまで待つなど、聞く姿勢を意図的に作る。
- ・日常生活や授業で、子どもたちが話したいという気持ちを認め合う雰囲気を作る。
- ・国語の学習を中心に、ペアで音読したり、言葉遊びをしたりして、いろいろな友達と学習できるように授業形態を工夫する。
- ・生活科などの体験活動を通して、発見や喜びなど伝えたい思いが出てくる場面を作る。
- ・スピーチや発表の活動を設定し、互いに認め合うことで言葉で伝えたこと喜びを感じたり、自信を持ったりできるよう支援する。



- ・読み聞かせ
- ・絵本、紙芝居
- ・ごっこ遊び
- ・かるたや手遊び
- ・手紙遊び
- ・劇遊び、影遊び
- ・当番活動
- ・フリートーク
- ・言葉遊び(しりとり、歯を見せちゃだめゲームなど)
- ・野菜作り
- ・あいさつ
- ・音読や言葉遊び
- ・ペアやグループの話し合い
- ・栽培活動
- ・帰りの会(今日楽しかったこと)

目指す姿：伝わると嬉しいな。聞いてもらえて楽しいな。

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)

入学

一年生・入学当初
(自覚的な学び)

⑩テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

自分の気持ちを伝える

喜びや安心
悲しさや不安…
様々な感情を
味わう

自分自身で
気持ちを
コントロールする

相手の気持ちを
聞く、
受け止める

自分と他者の
考えを
比べる

友達と一緒に
考える、相談する、
協力する

- ・これまでに身に付けてきた経験を基に、子どもたちで遊びをより発展させていけるような道具や教具を用意する。
- ・個々のよさや頑張りや他の友達に紹介する機会をもち、友達を意識し合って充実した園生活が過ごせるような雰囲気作りをする。
- ・自分の考えや要求などを自分の言葉で友達や保育者に伝えられるよう、子どもがなんでも話せるような関係を築いていく。気持ちに寄り添いながら受け止めたり認めたり褒めたりして保育者自身も言葉で伝えていく。
- ・相手の気持ちや話に耳を傾けたりクラスで話し合っってイメージを共有する時間を設けたりする。
- ・トラブルや困ったことを子ども同士で解決しているよう話し合いの場を作ったり、乗り越えようとしたりできるよう、見守ったり待ったりする。

- ・安心して話せる雰囲気作りをする。
- ・自分の言葉で伝えるよう見守る。←称賛する。
- ・子どもが「どうして」「なぜ」と疑問をもてるような体験の場を意図的に設定する。
- ・物事の良し悪しを、子どもに吟味させる時間を確保する。（根拠をもたせる。←自分の言葉で語る。）
- ・互いに学び合い、励まし合う中で、多様性に気付き、違いを認め合える関係づくりをする。→十人十色。→違いを生かし生活する。



- ・ごっこ遊び
- ・集団遊び
- ・歌
- ・リトミック
- ・読み聞かせ
- ・新聞紙遊び
- ・廃材遊び
- ・カルタ遊び
- ・異年齢児との関わり
- ・けんか、トラブル
- ・インタビュー
- ・1分間スピーチ
- ・栽培活動
- ・食育
- ・幼保小の交流
- ・クイズ
- ・手紙の交換
(文字・絵)

等

目指す姿：一緒に嬉しい！違っておもしろい！

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初
(学びの芽生え)
(自覚的な学び)

11) テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

なかよく遊ぶ

あふれる思い
を伝えたい

友達への
伝え合い

伝え合いの
楽しさに気付く

みんなに
伝えたい

みんなの話を
聞きたい

- ・あいさつすることで、保育者や友達と心を通い合わせることができるようにする。
- ・ごっこ遊びを通して、生活の中での必要な言葉の意味を知り、文字に興味を持つようにする。
- ・絵本や紙芝居に親しませることで関心を広げ、保育者による言葉がけによって想像力を高められるようにする。
- ・やりたいという気持ちを大切に経験や体験を通して、自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりすることで、お互いが理解できるようにする。



- ・入学当初の生活科スタートカリキュラムで、「やりたい」という気持ちを大切に活動に重きを置き、自分を表現する楽しさを味わえるようにする。
- ・学校探検で発見したことを伝えたり、図工で作った作品の説明をしたりするなどの活動を通して、伝えることの楽しさに気づかせ、もっと伝えたいという思いを高められるようにする。
- ・友達のスピーチを聞いたり、ペアやグループでの話合いや、学習の中での発表を聞くことを通して、友達の考えや思いを聞くことに興味を持たせ、学び合いができる集団作りにつなげていく。



- ・あいさつ
- ・ごっこ遊び
- ・かるた遊び
- ・歌、リトミック、手遊び歌
- ・絵本、紙芝居の読み聞かせ
- ・劇遊び
- ・お話作り
- ・お誕生会や季節の行事
- ・グループ活動
- ・当番活動
- ・自己紹介
- ・学校探検
- ・図工の作品作り
- ・スピーチ
- ・音読発表
- ・ペアやグループでの話合い
- ・学級会
- ・発言、発表

目指す姿：みんなに話すの楽しいな、みんなの話を聞くのも楽しいな

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

12 テーマ：健康な心と体

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

やってみたい
やってみよう

熱中し、困難にも
立ち向かう

自分の考えや
気持ちを表現
する

新しい友達と遊べる

汗をかくのは
気持ちがいいね

外遊び楽しいな

- ・なかなか利き手が定まらない、バランス感覚が4歳になっても悪い、ボールをける、受け取るが苦手、いつまでも発音がはっきりできない等、その子の個性と理解され、後々就学後に学習面での困難や、失敗感の積み重ねから人格全体に影響していくことがあると知っておくこと。
- ・神経組織の相互関係から考えても、基礎的な運動発達が、運動以外の分野に影響している。運動発達の未熟さは、就学後の何らかの困難に繋がること認識し保育にあたる。
- ・保育園で気付くことができれば、遊びながら本人が意識することもなくクリアしていける環境を整える。
- ・まずは発達を捉え、見合った運動遊びを行なうこと。自ら進んで何度でも必要な遊びを繰り返すことになる。
- ・遊びの時間を大切に、その時間の確保。保育士は子どもの遊びの時間が休憩時間のように過ごしてはならない。
- ・保育指針にも掲げられる、アクティブラーニングを大切に。主体的で、対話的で、深い学び・・・やってみたいというプロセスが大切になる。
- ・食の楽しさ、大切さがわかる食育活動を通して、食と健康のつながりを知る。

- ・遊具のきまりや校庭や体育館の使い方を知り、学校のきまりに慣れていけるようにする。
- ・さまざまな園で行ってきた活動のよさやおすすめの遊びなどを話し合いながら、お互いの名前を知り、新しい友達と体を動かして遊ぶよさを味わわせる。
- ・新しい学級で、初めは担任が間に入ったり、子ども同士をつなげたりしながら、遊びの提案をし、みんなで体を動かす楽しさを味わわせる。
- ・遊びのルールを守り、誰とも仲良く遊べる事の大切さを実感するよう、教師と一緒に支援する。
- ・運動遊びが苦手な児童への配慮を行う。恐怖心を取り除く配慮など。
- ・極度な不器用さや動きを組み立てることの苦手さのある児童は、動きを細分化して指導したり、補助を行ったりする。
- ・勝ち負けに過度にこだわる児童、負けた際に感情を抑えられない児童のために、活動の見通しを立てたり、勝ったとき、負けたときの表現の仕方の確認をしたりする。
- ・給食をバランス良く食べること、手洗いうがいの習慣を付けること、ハンカチ・ティッシュを携帯すること、など集団生活での健康・安全面でのルールを身に付けられるようにする。



- ・毎日体操
- ・運動遊び
- ・構成遊び
- ・机上遊び
- ・練習遊び
- ・役割遊び
- ・体育
- ・見立て遊び
- ・食育活動

- ・自己紹介
- ・じゃんけん列車
- ・たのしい給食
- ・遊具で遊ぼう
- ・なかよし活動
- ・異年齢遊び
- ・鬼遊び
- ・ボール遊び
- ・折返しリレー

目指す姿：元氣いっぱい学校楽しい！

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

13 テーマ：道徳性・規範意識の芽生え

子どもの姿

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

やってみる

成功・失敗の
繰り返し

友達と
やってみる

友達の
気持ちを
察する

善悪の判断

きまり・ルールを
守る大切さを
知る

- ・子どもが持つ興味・関心を自ら試してみる環境、雰囲気作りをし、見守る。
- ・体験に伴う悲しみや罪悪感、心の揺れを丁寧に読み取り受け止める。
- ・できた喜びを共感する。
- ・仲間と一緒にやる楽しさを、味わえるよう配慮する。
- ・トラブルは、すぐに中立ちをせず、子ども同士の関わりを見守る。
- ・皆、同じではないことに気付き、相手を気遣う気持ちを育てる。
- ・集団生活を通し、気付いたり感じたり様々な体験ができるように、環境設定をする。



- ・生活科で具体的な活動や体験による学習を充実させ、自分と友達のよさや成長に気付くことができるようにする。
- ・道徳の授業で相手の立場や気持ちを考えさせる。また、自分の考えをワークシートに書かせたり、発表させたりする。
- ・トラブルが起きたときには、子ども同士でお互いの気持ちを話し合わせて、これからの行動を考えさせる。
- ・押しつけるような指導ではなく、子どもたちが納得できるように自分たちで決められる場の設定をする。



- ・挨拶
- ・当番活動
- ・整理整頓(準備・片付け)
- ・絵本 紙芝居
- ・対話
(人の話を聞く・話す)
- ・施設参観
(老人 学校 公共)
- ・ルールのある遊び
- ・スポーツフェスティバル
- ・栽培活動
- ・園外保育
(社会体験活動あり)
- ・ごっこあそび
- ・係活動
- ・校外学習
- ・ペア・グループ学習
- ・クラス遊び
- ・読み聞かせ
- ・意見や考えの発表
- ・話し合い活動
- ・なかよし班での活動
(異学年交流)
- ・地域の人との関わり
(幼稚園 お年寄り)
- ・その日あった嬉しかったことや頑張ったことを話す

目指す姿：相手の気持ちになってみよう

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
↓
入学
↓
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

14 テーマ：自然との関わり・生命尊重

幼児期・年長後半
入学
一年生・入学当初

(学びの芽生え)
↓
(自覚的な学び)

子どもの姿

発見・興味

触れる

友達に伝える喜び

世話をする楽しさ

新たな発見・気づき

生死を身近に感じる

【保育者・教師が大切にすること】

- ・子どもたちと散策に出かけたり、動植物と触れ合う機会を作ったり、環境を設定する。
- ・見つけた虫（あり・だんご虫など）の様子を観察する。「お家は？」「ごはんは？」「どうやって寝る？」など自分の生活に置き換えて一緒に考えてみる。ヒントを与える言葉かけをし、興味を広げる。
- ・発見場所などを図鑑や本などで調べたり、友達と情報交換をしたりする。
- ・虫や花を友達に見せたい気持ちから園に持ってきて友達と触れたり集めたりするのを楽しむ。
- ・どんな小さなものでも「生まれる」「生きる」「死」があることを知らせ、物も大切にすることを育てる。（おもちゃ、机、いすなど）



- ・生活科で校庭を散策し、春の植物や学校にいる生き物を見つけ、身の回りのものに興味・関心を持たせる。
- ・あさがおの成長の様子を細かく観察し、植物の成長の変化に気付かせ、世話をする楽しさを実感させる。（形、色、手触り、大きさなどの観察の観点を具体的に指導する）
- ・うさぎ当番を通して、動物も人間と同じように掃除や食べ物の必要性を考えさせる。
- ・うさぎに触れ、動物の「生」は温かいことを知り、生命の尊さに気付く。
- ・身近な動植物への接し方を考え、命を大切にすることを育てる。



【大切な経験や活動】



・園庭での発見（あり、ちょうちよ、かえる、だんご虫）



・苗植え
（じゃがいも、さつまいも、ミニトマト、きゅうり）



・掲示物
・めだかの飼育
・カレー給食（保護者と調理）



・校庭での発見（虫、草花など）



・あさがおの世話
・うさぎの飼育（水やり・えさやり・掃除）
・観察日記（色・におい・温かさ・手触り・大きさなど）
・動植物の死

目指す姿：生命があることに気づき、生き物を大切にしようとする気持ちを持つことができる。

15) テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

自分の思いが
中心

友達に
伝えたい

伝わる喜び

相手の思いを
聞くことの
よさに気付く

聞きたい

・子どもたちの思いを受け止め十分に認めながら、安心して自分の思いが出せるような信頼関係を築いていく。

(認める・受け入れる・共感する。)

・友達と十分に関わって遊びを進めていける場と時間を作り、その中で自分の思いを表現することの楽しさ、仲間とやりとりをすることのおもしろさを味わえるような保育の工夫。

・一方的になりがちな思いを、相手に伝わるように言葉を補ったり、どうしたらよいか一緒に考えたりして、気持ちが通じたときの成功体験を共感し、言葉にして伝えていく。

・友達とやりとりをすることで、面白かった、楽しかった思いを積み重ね、またやりとりしたいという期待が持てるようにしていく。

・作業が終わったとき、先生の話を書くときの合図を決める。(手を膝にして待つ)

・様々な体験を通して話したいことを「せんせいあのね」と伝えてきたとき、その思いを大切にし、子どもの目線に立って聞く。

・友達と交わる場を多く設定し、相手の思いを聞くことの大切さに気付かせる。

(一人→みんな)

・一人でやってもうまくいかないことも友達とやると成功する達成感を味わわせることにより「聞きたい」気持ちを膨らませる。



- ・ごっこ遊び
- ・固定遊具遊び
- ・砂遊び
- ・小動物の飼育
- ・なわとび
- ・読み聞かせ
- ・誕生日会の出し物発表

- ・リレー
- ・鬼ごっこ
- ・うまとび
- ・ドッジボール
- ・音読
- ・学校探検
- ・当番・係
- ・文字の学習

等

目指す姿：聞き名人になりたいな。

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

16 テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】

【大切な経験や活動】

子どもの姿

言葉に触れる・
親しむ

関心を持つ

思い・考えを
持つ

言葉のよさに
気付く

伝えることを
楽しむ

伝え合う
楽しさを
感じる

- ・様々な言葉に触れられるように、絵本や紙芝居の読み聞かせをしていく。
- ・一人一人の素直な思いを大切にし、安心して言葉のやりとりをできるようにする。
- ・子どもが発する言葉を代弁していき、気持ちを大切にしていく。
- ・一人一人が自分の気持ちを発言できるような環境作りをする。
- ・友達によさや得意なことを理解させ、お互いに教え合ったり学び合ったりできる場を設定する。



- ・伝えたい気持ちを伝える楽しさにできるよう、安心して伝え合えるような学級集団を作る。
- ・読み聞かせや言葉遊び、音読を通して、様々な言葉に触れさせ、豊かな言葉や表現の楽しさを十分感じ取らせる。
- ・合科的指導の中で、鉛筆の持ち方、書き順などの指導を充実させ、正しい文字を身に付けさせる。
- ・教師自身が適切な言葉を使い、望ましい言葉のやりとりができるよう促す。



- ・あいさつ・返事
- ・読み聞かせ
- ・素話
- ・ごっこ遊び
- ・しりとり
- ・かるた遊び
- ・グループ活動
- ・劇遊び
- ・スピーチ
- ・思い出の発表
- ・自己紹介
- ・言葉集め
- ・ペア学習
- ・グループ学習
- ・音読
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・発見(観察)カード
- ・誕生日カード作り
- ・絵日記

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

目指す姿：自分の思いだけでなく、相手の思いも大切にしながら伝え合うことができる。

17 テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

話を聞いてほしい

聞いてもらえた喜び

友達に伝えたい

分かり合えたよさ

伝え合う楽しさを味わう

話したり書いたりして伝え合いを楽しむ

・子どもとの言葉のやりとりの中で、気持ちが通じ合うことの喜びや心地よさを味わうことができるよう、保育士は子供の話に耳を傾け受け止めていく。
・友達同士での関係が深まると、いろいろな経験や思いをみんなに伝えたいと思うようになるので、伝えられる環境を整えていく。
・子どもたちの伝え合いをしっかり受け止め、言葉ならではの楽しさや言葉で表現する喜びを感じ、人とのつながりを深められるようにする。
・共通の目的に向かって、みんなで話し合う活動にも取り組めるよう、一人一人の考えていることや思いを聞き取り、周りの子どもたちに伝えていく。



・筆記具を正しく持って文字を書き、文字が書ける楽しさを味わわせる。また、書いたものを友達と交換し合い、書き言葉による伝え合いを楽しませる。
・楽しかったことや友達のよかった行いの発表会を毎日設け、発表したり聞いたりする楽しさを味わわせる。
・国語科・生活科の中で、紹介や説明、報告など伝えたいことを話す活動を充実させる。
・授業だけでなく日常生活全体の中で、友達と相談したり教え合ったりする場面を多くする。
・ソーシャルスキルトレーニングや授業を通して相手の話を集中して聞くスキルを学ばせる。
・ペア学習を取り入れ、お互いの考えを交流できるようにする。



- ・絵本の読み聞かせ
- ・ごっこ遊び
- ・集団遊び
- ・当番活動
- ・手紙のやりとり
- ・夕涼み会制作
- 「おばけやしき」
- ・クリスマス発表会
- ・カルタ遊び
- ・おみせやさんごっこ
- ・卒園制作
- ・名前を書く
- ・名刺作りと交換
- ・国語科授業
- ・ヒーロー紹介
- ・見つけたよカード
- ・当番活動
- ・ペア学習
- ・グループ活動

目指す姿：友達同士で言葉による伝え合いを楽しむ

幼児期・年長後半
（学びの芽生え）
↓
入学
↓
一年生・入学当初
（自覚的な学び）

⑱ テーマ：言葉による伝え合い

子どもの姿

言葉や話への興味

友達や保育者に伝えたい

伝わる喜び

話す楽しさ

聞くことの大切さ

上手に伝えたい

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

- ・経験したことや自分の思いを言葉で表現したり、相手の言葉を聞こうとしたりする気持ちを育てる。
- ・子どもの言葉や様々な表現を認め、一緒に楽しむ。
- ・言葉で伝え合うことが難しいときには、保育者が援助していく。
- ・子供同士で話し合う機会を多く持たせ、言葉でのやりとりの経験を増やす。
- ・様々な活動において成功体験を増やし、自信を持たせる。



- ・読み聞かせ
- ・先生や友達との会話
- ・ごっこ遊び
- ・遊びや活動の振り返り
- ・言葉で伝える
- ・話を聞いてもらう

- ・当番活動
- ・縦割り班活動
- ・学級活動
- ・ペアやグループでの話し合い
- ・学校探検
- ・朝のスピーチ
- ・話す聞くスキル
- ・帰りの会(よいこと発表)
- ・音読 等

- ・安心して話せる雰囲気をつくる。
- ・お互いの話に関心を持って聞き合う場を設定する。
- ・相手の話を聞くときの良い姿勢を示し、習慣付けを図る。
- ・話をするときの声の大きさや速さ、話す事柄などを指導し、相手に伝わるような話し方を身に付けさせ、自信を持たせる。
- ・集中して話を聞いたり、相手に伝わるように話をしたりすることができたときには、大いに称賛する。



目指す姿：最後までお話聞くよ。伝わるようにお話するよ。

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)

入学

一年生・入学当初
(自覚的な学び)

19 テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

親しみ・興味

伝えたい

伝える楽しさ・嬉しさ

言葉をふやす

分かりやすく伝えたい

相手の思いに気付く・聞く

・絵本や物語などを見たり聞いたりする中で、楽しさを十分に味わい、言葉に対する親しみや興味が持てるようにする。
・言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現などに触れ、楽しさを味わえるようにしていく。
・言葉を使った遊びの提供をし、言葉を使うことに喜びを感じられるよう、状況に合わせて工夫・発展させていく。
・子どもの話に耳を傾け、言葉が不足するときに補いながら、伝える楽しさを味わわせる。
・今日の遊びでよかったことや大変だったことなど振り返りをするすることで、言葉で表現する楽しさに気付いていけるようにする。

・気持ちのよい挨拶や言葉遣いなどを心掛けて、他人と接する心を育てる。
・友達や先生、上級生など、学校の様々な人との関わりを通して、楽しく安心してコミュニケーションがとれるよう配慮する。
・相手意識を持って、場面に合わせた声の大きさや速さで話すことができるよう支援する。
・話し手の目を見て、相槌を打ちながら興味を持って聞くことができるよう支援する。
・話をよく聞き、誉めて、認めて、伸ばす。一人一人に自信をもたせる。
・話す、聞く、読む、書くなど幅広い言語活動の場を保障し、コミュニケーションを深める。



- ・当番活動
- ・朝の会(質問・発表)
- ・行事の司会
- ・かるた遊び
- ・劇遊び
- ・手紙ごっこ
- ・ゲーム(しりとり・伝言)
- ・言葉集め
- ・読み聞かせ
- ・読書
- ・自己紹介
- ・スピーチ
- ・ペア学習
- ・グループ活動
- ・言葉遊び
- ・クイズ作り
- ・文字の学習
- ・発見カード
- ・観察カード
- ・音声言語授業



目指す姿：話を聞くよ。言葉で伝えるよ。

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

②0 テーマ：言葉による伝え合い

【保育者・教師が大切にすること】 【大切な経験や活動】

子どもの姿

親しみ・興味

思いを伝えたい

聞いてもらう
喜び

いろんな言葉
を知りたい

分かりやすく
伝えたい

もっと聞きたい

・子どもたちの興味、季節感を考慮した絵本や紙芝居の読み聞かせをし、言葉に親しみを持たせ、語彙を増やすとともに、様々な表現方法を知り、興味を持てるようにする。

・子どもの声に丁寧に耳を傾ける。受け止め、共感し、言葉で表現する楽しさ、伝わる喜びを感じられるようにする。また、聞いてもらえるという経験を積む中で、自己肯定感をもち、自分の言葉に自信を持てるようにしていく。

・心が揺さぶられた体験の後は、自分の思いを発表する場を設け、友達と共有する機会を作り、伝えるだけでなく、友達の話も聞いてみようという気持ちを持てるようにする。



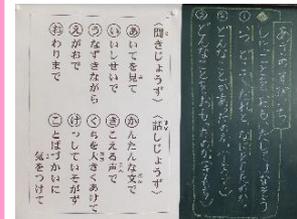
・新しい環境に慣れ、安心して生活や話ができる人間関係を築けるように努める。

・生活科を中心とした体験活動を充実させ、発見や喜びなどを伝えたいという思いを喚起する。そして、自分の体験や気付きを伝えたり、もっと知りたいことなどを聞いたりして交流させる中で、互いに認め合い、伝え合う楽しさを感じられるようにする。

・国語の学習を中心に、様々な言葉に触れたり言葉を集めたりして、語彙や表現力を高めていく。

・朝の会でスピーチする場を設定し、伝えたい内容を分かりやすく話したり、話をよく聞いて質問したりできるように、言葉掛けや掲示物等を工夫する。

・ペアやグループ学習を取り入れ、自分の思いを進んで伝え合い、喜びや自信を持てるようにする。



- ・読み聞かせ
- ・ごっこ遊び
- ・言葉遊び
- ・かるた遊び
- ・共有体験
- ・集団活動(行事等)
- ・当番活動
- ・発表(個人)
- ・友達とのぶつかり合い
- ・自己紹介
- ・縦割り班活動
- ・学校探検
- ・あさがおの栽培
- ・言葉集め
- ・国語の学習
- ・朝のスピーチ
- ・掲示物(言語環境)
- ・係・当番活動
- ・ペア・グループ学習
- ・帰りの会(よいこと発表)

目指す姿：うまく伝えられた。よく分かった。

幼児期・年長後半
(学びの芽生え)
入学
一年生・入学当初
(自覚的な学び)

幼小連携川柳



教えるよ
自分ができる
とくい技

つなごうよ
子どもの未来
大事だよ

その思い
できたの笑顔
受け取るよ

遊びから
生まれる未来
無限大

ぼくのこと
みんなに見せたい
つたえたい

つたえよう
みんなでつなぐ
えがおのわ

見つけたよ
きみのいいところ
つなげたい
♥

遊ぼうよ
いくつになっても
全力で

やってみたい
チャレンジ精神
大切に！

小学校
今よりもっと
楽しいよ